

大学生活と情報倫理

慶應義塾 Information Technology Center (ITC)

(出典:2014年度 商学部新入生ガイダンス資料より抜粋、全学部向けに一部修正)



目次



- 著作権の遵守 ----- 3
- インターネット利用時の注意 --- 9
- セキュリティの対策 ----- 16
- まとめ ----- 18



著作権とは

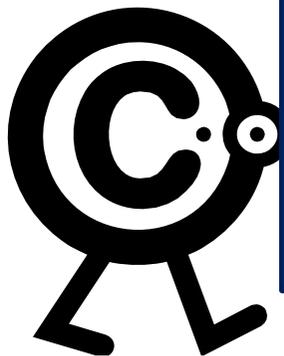


□ 著作物を創作した人(著作者)に発生する権利

- 著作者がその著作物の扱い方を決めることが可能

□ 著作者に無断で複製・貸与・公衆送信などを行うことは法律によって禁止されている

- 著作物(映画, 音楽)は著作権法によって, その権利が守られている



著作権を侵害すると「10年以下の懲役
または1000万以下の罰金(併科も可)」
という罰則を科せられる



著作権法の改正



□ 2012年10月より新しい著作権法の適用

- 現行の著作物の取り扱いへの対応（違法コピー・デジタル化への対応）
 - コピー防止措置が取られたDVD・BDの*リップニング禁止
 - 海賊版への対処
 - コピー防止プログラム解除のプログラム作成の禁止

*DVD・BD等の内容をPCへ取り込む行為

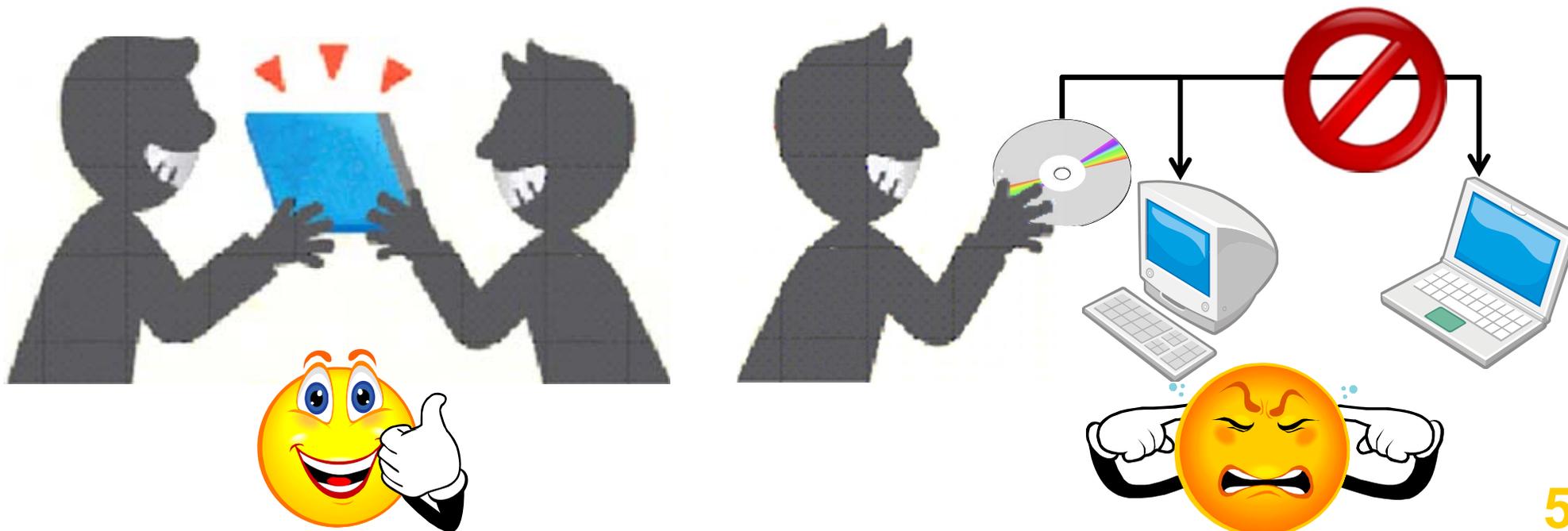
著作物の不正な取扱い①



□ 友人が購入したソフトウェア・映画DVD・音楽CD・書籍をコピーする

※ 現物の貸与は良いが、複製(コピー)は違法

※ 有償ソフトウェアの多くは、複数台のPCにインストールすることを禁止している



著作物の不正な取扱い②



□ 著作者に無断で、音楽・動画ファイルをWebからダウンロードあるいはWebにアップロードする

※ 著作者の許可なくアップロードすることは違法

※ Webに不正に公開されているものを、それと知ってダウンロードすることも違法

※ ファイル共有ソフトウェアを用いた場合も違法



□ 自分に著作権のない、あるいは無断配布が禁止されているデータを、ファイル共有ソフトウェアを利用してダウンロード可能な状態にする



ファイル共有ソフトウェアとは



□ インターネットを通じてファイルを不特定多数で共有することを目的としたソフトウェア

- BitTorrent, BitComet, Xunlei, Perfect Darkなど

※ ファイルを自動的に他人がダウンロード可能にするため
配信していることになる → 著作権の侵害



著作物の不正な取扱い③



□ レポートを作成する際に、書籍やWebの情報(意見や図表等)について出典を示さずに、書き写したりコピーする

※ 出典を明記しないと盗用もしくは不正行為と見なされる

※ 出典と引用部分を明示すること



カンニングと見なされ処分の対象になるので注意



インターネット利用時の注意



□ アカウムの管理

- 推測されにくいパスワードを設定する
- フィッシング詐欺に気を付ける

□ SNSやTwitterにおける発言の注意

- 他人を誹謗・中傷しない
- 個人情報への取り扱いに気を付ける



犯罪の被害者や加害者にならないように注意

アカウントの管理①



□ 推測されにくいパスワードを設定する

- ・ 8文字以上で「大文字, 小文字, 数字, 記号」を3種類以上混ぜること

推測されやすいパスワード

- ・ 自分や家族の誕生日/電話番号
- ・ 辞書に載っている単語のみ
- ・ 数字, 英字のみ
- ・ 例: keiotaro2014

推測されにくいパスワード

- ・ 他人が見て意味が分からないもの
- ・ 8文字以上
- ・ 大文字, 小文字, 数字, 記号を含む
- ・ 例: Y9!5szu!\$x@



他人にパスワードを教えないこと

アカウントの管理②



□ フィッシング詐欺に気を付ける

- フィッシング詐欺とは、迷惑メールやWebサイトから利用者に個人情報(銀行口座・クレジットカードの番号やID・パスワード等)を打ち込ませて悪用する詐欺のこと

例: 銀行やクレジットカード会社を装って以下のようなメールが届く

「お客様のアカウント情報が漏れている可能性があります。下記のURLから至急パスワードの変更をしてください。」

- 対策: メール内のURLはクリックせずに, アカウント管理会社のWebサイトから正規の手順でパスワードを変更する



パスワードを入力する時は慎重になること



SNSとは



□ SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

- 人と人とのつながりを促進・サポートするWebサイト。記述した記事を互いに公開することで、出身校や居住地域、趣味、友人などコミュニティ単位で人間関係の構築を支える
- Facebook, LINE, mixiなどが代表例

SNSやTwitterにおける発言の注意

□ 他人を誹謗・中傷しない

- 不特定多数の人に見られていることを意識すること
- 一度インターネット上に流れた情報は、完全に消すことが不可能

□ 個人情報の取り扱いに気を付ける

- 安易に自分の個人情報を登録しない
- 他人の個人情報の扱いには細心の注意を払うこと



自分の発言には、しっかり責任を持ち
発言の及ぼす影響について考えること

事例集①



□ 2011年7月

- 大学生がスポーツ選手との合コンをTwitterで公開
→ 当事者には大学から厳重注意の処分



□ 2011年12月

- 大学生がTwitterで無賃乗車をツイート
→ 本人の経歴がインターネット上に掲載される



事例集②



□ 2012年3月

- 高校生がmixiで飲酒を自慢
→ 本人のプロフィールと写真がインターネット上に掲載される



□ 2012年4月

- 大学生がTwitterで飲酒運転をツイート
→ 本人のプロフィールと写真がインターネット上に掲載される



セキュリティの対策①



問題1: コンピュータウイルス

- システムに何かしらの悪さをするプログラム
 - データの破壊, 個人情報の流出など
- 主な感染経路
 - 不正なWebサイト, メールの添付ファイル, USBメモリ



□ OSやアプリケーションのアップデート

- セキュリティホールを修正し, ウィルスの感染を防ぐ

□ セキュリティ対策ソフト

- ウィルス感染やフィッシング詐欺を未然に検知し, 防ぐ



keio.jpのサイトからセキュリティ対策ソフト
を入手して利用することができる

セキュリティの対策②



問題2: 個人情報の漏洩

- スマートフォン
 - 個人情報の宝庫(電話帳データ, アカウント情報など)
- USBメモリ
 - 多くの学生がレポートや名簿などを保存



→ 紛失した場合に個人情報が第三者に悪用される可能性がある

□ 重要な情報を持つファイルは暗号化

- ファイル自体を暗号化する
- ファイルが保存されているディスクやUSBメモリ等を暗号化する



個人情報を保存している端末は, パスワード等の
アクセス制限を設定して管理することが前提

まとめ



☑ 著作権の遵守

- 他人の著作物(音楽・画像・動画など)の扱いに注意
- レポート等を作成する時の参考・引用の出典を明記

☑ インターネット利用時の注意

- SNSやtwitterにおける発言の影響と責任を考慮
- 個人情報の慎重な取り扱い

☑ セキュリティの対策

- 利用するPCへセキュリティ対策ソフトをインストール
- 個人情報を含むデバイスやファイルにはパスワードを設定